

＼お医者さんへの相談事例／

～家族の健康・医療相談 編～

※掲載の許可をいただいた相談内容をご紹介します

Q 私の母は数年前に腰を悪くし、「椎間板ヘルニア」「脊柱管狭窄症」などと診断されました。検査をしたのですが、まだどちらの病気なのか分からず困っています。症状としては腰の強い痛み、足の強いしびれがあります。どうしたら改善するのか、セカンドオピニオンを受けるべきなのか悩んでいます。(20代 女性)

A 腰椎椎間板ヘルニアは腰の椎間板が悪くなって飛び出し神経を圧迫して症状の出る病気です。腰痛が出たり、又神経を圧迫すると足の方にしびれや痛みがでます。お年を召して来ると背骨や椎間板にも年齢的な変化が出ますのでそのために神経が障害されて症状が出る病気を腰部脊柱管狭窄症といいます。この病気には椎間板ヘルニアも含まれますのでおそらく整形外科の先生がその様に説明されたのだとおもいます。腰痛や足の痺れは安静や投薬、シップなどで改善する可能性はありますが良くならないこともあります。症状が強く生活に支障のある場合は手術をすることもあります。納得のいくまで相談された方が良いでしょう。他の先生に診ていただいても良いと考えます。またいつでも相談してください。(整形外科医)

Q 5カ月の子供が目を離していた隙にベッドから畳の床にうつ伏せの状態落下して、抱き上げてだっこすると数分で泣き止み、元気な様子です。現在、子供は元気にいつもと変わらぬ様子ですが、落ちてから頻りに乾いた咳をし始めて、少し心配です。(30代 男性)

A その後普段通りであれば様子を見ていて良いでしょう。咳は関係はないでしょう。ご安心ください。ですが時間が経って症状が出る事もあるので、不機嫌、活気不良、哺乳低下などがあれば近隣の脳外科もしくは小児科を受診をさせていただきます。(小児科医)

first call とは、インターネット上で医師に健康相談ができる web プラットフォームです。医師へのチャット相談・TV 電話相談をいつでも何度でも行うことができます。

Q 生後 1 カ月の子供ですが、フケがすごいです。新生児の頃から乳児湿疹がよくでる子でしたが、先週末からは、爛れてはいませんがフケがとにかく目立ちます。小児科に連れていくべきでしょうか？(20代 女性)

A 1 カ月のお子さんでフケが多いということだと、乳児脂漏性湿疹が最も疑われます。ベビー用石鹸などでよく洗い、保湿していただくとうよいです。頭部に付着している場合は、ベビーオイルやオリーブオイルなどで軟らかくするととれます。月齢が進むと出にくくなってきますが、ひどくなるようでしたら皮膚科、小児科を受診していただくことをお勧めいたします。お大事にしてください。(小児科医)

Q 祖母のことなのですが、一年ほど前から咳が止まりません。病院に行って肺やアレルギーの検査などをしてもらったのですが、異常は無いようです。祖母は市販の健康サプリなどを大量に飲んでいるため、そのせいかと家族は考えているのですがサプリで咳が止まらなくなったことはあるのでしょうか。(20代 女性)

A 健康サプリもさまざまな種類がありますが、「サプリで咳が出る」というのはあまり聞きません。どちらかというと、お祖母様の年齢にもよりますが、年齢を重ねると多く見られるものとして COPD という病気があり、頻度としてはこれが多いのではとも思います。これは、肺をスポンジとして考えると、スポンジのきめ細かさが荒くなってしまいう状態、この状態になると風邪をひいたりしてなくても、慢性的に咳がでることがあります。肺のレントゲンだけではわからず、CT や呼吸機能検査などを行って診断していきます。また、その他に咳が出やすいものとしては、血圧の薬では一部咳がでやすいものがあつたりします。一度、CT など含めた検査をしてみると良いかもしれません。参考になりますでしょうか。(内科医)

誰の症状か、年齢・性別と症状について具体的に記載いただければ、医師からの回答も的確になります♪

Q 80歳の母について。ここ1年ほど、耳の聞こえが悪くなったことを気にしています。補聴器を使った方がいいかどうか、本人は迷っているのですが、家族との会話の中で、聞こえにくいのはどうやら父(87歳)の声だけなのです。私や夫の声は、ちょっと大きめに話せば、なんら不都合がありません。補聴器はかえって邪魔になるのではないかと考えているのですがいかがでしょうか。(50代 女性)

A 補聴器は高い買い物ですが、購入の前に試すことが出来るので、まずは試してみるのが良いのではないのでしょうか。今後必要になるかもしれません。色々と種類がありますが、いきなり高い高性能のものを買う必要はありません。また、医療機関以外で買くと、どうしても商業的な勧められ方をしてしまうので、なるべく耳鼻科での購入をお勧めします。さらに、音の刺激が脳に入った方が認知症の予防にもなります。まずはお近くの耳鼻科に相談されてみると良いでしょう。(耳鼻科医)

Q ずっと子供が出来ず、妻が不妊治療をしたいと言ってきました。一緒に産婦人科に行こうと勧められているのですが、正直言って不安で行くかどうか悩んでいます。不妊治療は十分効果があるのでしょうか？(40代 男性)

A 女性外来を担当しております。実際、生殖医療につきましては格段に進歩しつつあり、決して不妊治療は無駄ではありませんが、まずは検査して調べてみないと判断はできません。軽いステップですぐ妊娠するケースもあれば、早発閉経(女性側の要因)や無精子症(男性側の要因)など、治療が複雑なステップを要するものもあります。男性サイドは、気が乗らないことも多いような印象がありますが、見た目ではわからないので、一緒に検査を受けてみることをお勧めします。(産婦人科医)

- ◆ 相談科目 小児科・産婦人科・内科・精神科・眼科・整形外科・がん診療科など、ほぼ全ての科目の健康相談に対応しております。
- ◆ 登録医師 50名以上(2018年5月時点)
- ◆ 利用時間【チャット】24時間利用可能

【テレビ電話】9:00～23:00(予約制)

※チャットでのご相談、テレビ電話でのご相談について利用回数制限なし

- ◆ 必要機材・チャットはスマートフォン/PCより利用可能
- ・テレビ電話の場合は、マイク/カメラ付きのPCが必要

※バージョンアップに伴い、サービス内容・画面を変更する可能性があります。

登録用QRコード／

